

電動 GOGORO SmartScooter が正式公開。

モーターバイク一辺倒の中で、最近の電動バイクの新しいモデルが注目を集めている。米国のコンシューマーエレクトロニクスショーで発表されたスマートスクーターは、電子技術に基づいたデザインで溢れている。そしてプロモーションビデオでの、非常に魅力的なダッシュボードと、その走行可能時間と最大スピードは、Gogoro メーカーに多くの関心が寄せられている。多くの人々がこのスマートスクーターに



関してのニュースを楽しみにしているが、ちょうど今日、Gogoro スマートスクーター（智慧雙輪）の公式発表と世界初の Gogoro 体験センターが 信義區威秀影城 (Vie Show Cinemas) に正式オープンした。

Gogoro スマートスクーター（智慧雙輪）の発表会@信義威秀シネコン 第12ホール

記者会見は信義威秀シネコンの第12ホールで行われ、横のポスターも映画フィルムのような Smartscooter の写真に置き換えられた。



このイベントは創設者兼最高経営責任者（CEO）の陸學森（Luk Hsueshen）氏の基調演説で始められた。香港で生まれ、ワシントン大学を卒業した彼は、Nike や Microsoft で働き、HTC のクリエイティブ・ディレクターとして Windows Mobile 時代における多くの製品の開発に貢献した。

MOBILE



Gogoro の調査によると、2030 年までに人口の 60%以上が都市に居住し、住民 1000 万人以上の超巨大都市が 40 を超え、通勤に大量の交通手段が必要となる。

MOBILE

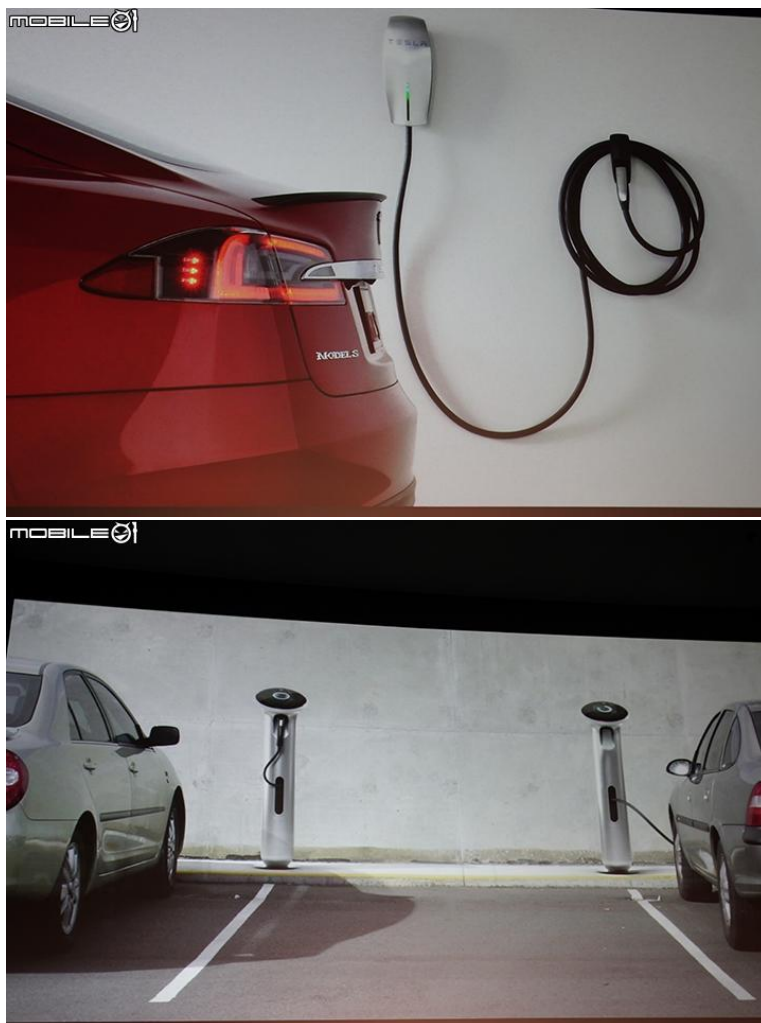


一方、現時点では、ほとんどの人の所得の 5%が通勤用車両のガソリン購入に使われており、これは非常に大きな額である。

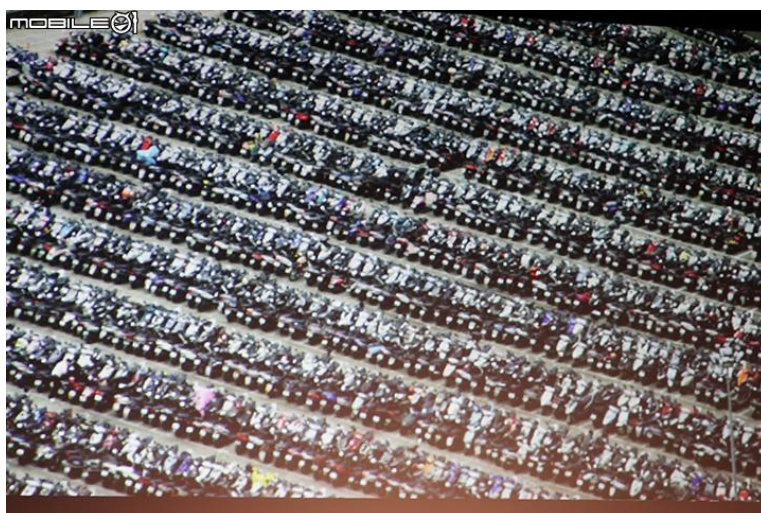
MOBILE



Tesla や BMW i シリーズなどの近年の電気自動車の漸進的な増加は、プラグイン充電によって補完されているが、自動車用の充電ステーションの設置はそれほど難しくはない。



ところが、台中市で撮影されたバイクの駐輪場のように、バイクの密度が非常に高い場合は、充電が難しいなどの大きな問題の1つになっている。高価な建設コストに加え、多くの充電スタンドの設置が必要で、効率的ではない。



Gogoro は Smartscooter（智慧雙輪）、Android / iOS スマートフォン、そして最も重要な GoStation（新しいオープンソースのエネルギーを提供するバッテリー交換ステーション）を統合し、新しいエネルギーを提供する運用ネットワークを使用している。



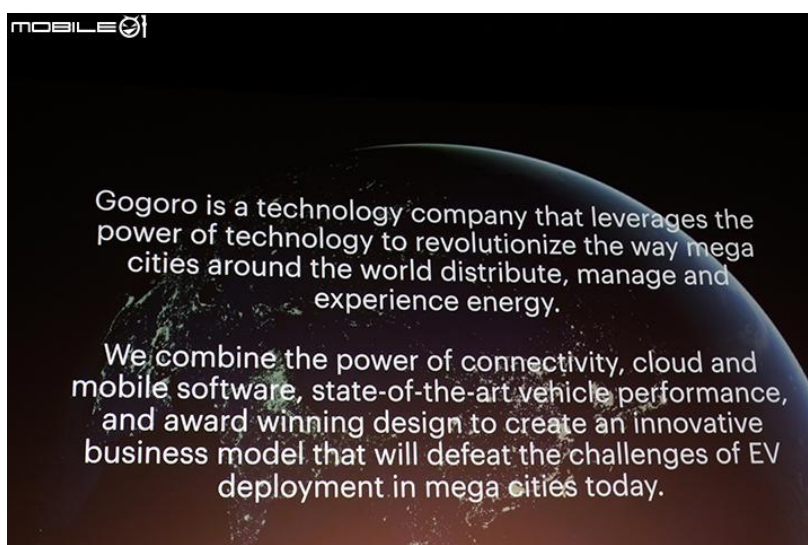
<https://youtu.be/oHcBV1UCqT0>

ビデオ：Gogoro Vision：さあ走ろう。

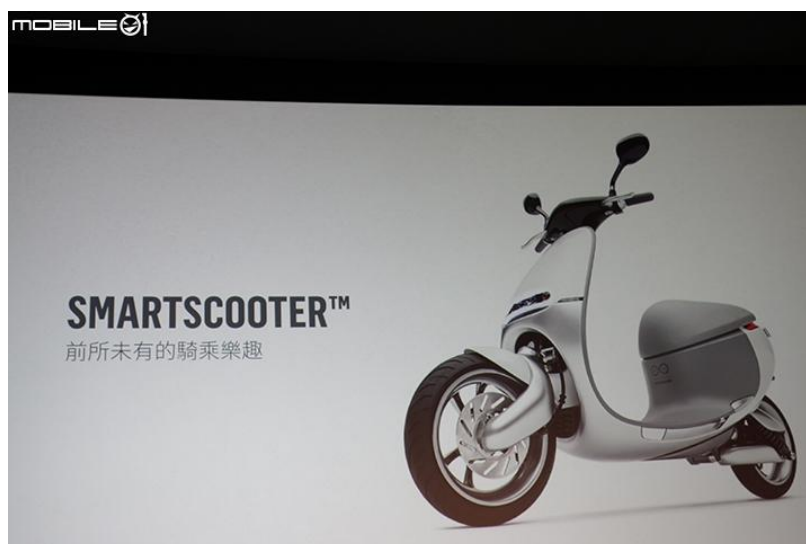
その後、Gogoro のマーケティング担当副社長彭明義 (Pog Ming-yi) が登場し、新しい Smartscooter についての紹介を始めた。



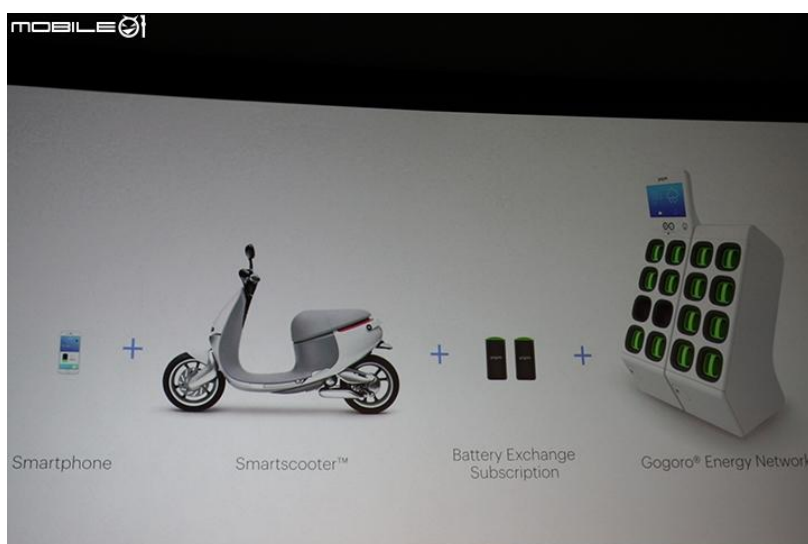
Smartscooter は、主に今日の巨大都市に向けて設計されており、携帯電話と統合された、最先端技術で設計された新しい大動力の電動バイクで、また、この電動バイクによって都市の新たな変革で発展することが期待されている。



これは Gogoro Smartscooter の新しいデザインで、現行のバイクは車体全体がほとんど変わっていないが、多くの技術要素を融和し設計された、ゼロから作られた完全に新しいバイクである。



スマートフォン+スマートスクーター（智慧雙輪）+交換バッテリーと Gogoro バッテリー交換ネットワークは、バッテリー交換をより効率的かつ簡単にすることができる。次にその紹介ビデオがある。



https://youtu.be/leH7_LpvQiY

公式ビデオで Gogoro Smartscooter をまず知ろう。

Smartscooter はクリーンで新しいスマートなエネルギーのバイクである。ゴゴロは、Gogoro が最初に投入されるのは、人口密度が高く、電動バイクの需要が拡大している大都市の台北市である。

その台北市に関して、gogoro は台北市長の柯文哲（Ke Wenzhe）氏を特別に招待し、ビデオでの紹介を視た



後に市長は、「これまでの電動バイクは充電方式を採用しており、またバッテリーの持続時間も短くあまり便利ではなかった。リチウムバッテリーを使用した gogoro スマートスクーターは、この問題を解決しています。同時に香港出身の陸さんが、台北市を最初の出発点として選んでいただいたことに感謝しています。このような新エネルギー車を、市政府補助金など、台北市政府は完全に支援いたします」と述べた。



gogoro が投入される別の都市は新北市で、新北市の副市長である陳仲賢（Chen Nianxian）氏は、「台湾の環境汚染は主にバイクによるものであると考えられるが、電動バイク方式を採用することで、空気と騒音公害を減らすことができ、新北市政府は電動バイクのために合計 80 の充電/交換ステーションと新しい専用駐車スペースを立ち上げ、バイクの電動バイクへのリプレイスを促進する計画で、電動バイクの購入には1台 10,000 元の購入補助を行予定です」と述べた。



マーケティング担当副社長の彭明義（Peng Mingyi）氏も正式に Smartscooter がこの夏、台湾で正式に発売されると発表した。しかし今日の記者会見では価格は開示されなかった。



正式な発売を前に、Gogoro は、台北市の Gogoro 体験センターの公式サイトで 100 人のモニタードライバーを募集し、それぞれ 1000 時間、合計 10 万時間の試乗活動を行う。この募集に興味を持っている方は、公式サイトを参照のこと。



長や役員らが記念写真を撮った後、記者会見は正式に終わった。



Gogoro Smartscooter（智慧雙輪）の簡単な紹介

現在、道路上で試乗車を時折見かけることができるが、信義區威秀影城（Vie Show Cinemas）にある Gogoro 体験センターには多くの Gogoro が展示されている。



Gogoro が Smartscooter を設計したとき、Only the Best という新しいコンセプトを掲げ、以前のバイクのデザインのすべての捨て、スマートスクーターをゼロからデザインした。



これは Smartscooter の側面であるが、現在の国内市場の鋭いスクエアのバイクとは異なり、2人掛けの丸みを帯びた洗練されたボディデザインになっている。

正面 45 度からの写真、フル LED ランプでデザインされたヘッドライト、ランプの外側のリングも LED 照明



で、方向指示ランプも、例外なくLEDの使用されている。ここではハロゲン電球を見つけることができず、確かな新しいデザインスタイルがここにはある。



フロントボディーは非常に丸みを帯びている。LED ランプのヘッドランプは、非常に技術的なものであるが、スマホのアプリで、電源スイッチをオンにした時の点滅モードを切り替えることができる。



上の白いパネルは交換可能で、ドライバーは自分のスクーターをカスタマイズすることができる。交換は非常に早い方法で行うことができる。



ベッドライトの LED 照明は、遠くを照らす上向きと、近くを照らす下向きに切り替え可能であるが、どの程度のものかは確かめていない。LED 照明はハロゲンと同明るさを実際に感じるができるが、より多くの電力を節約することができる。



LED の方向指示ライトは、点灯がオフになっても、点灯時と同じデザインスタイルが残されている。



<https://youtu.be/zA-5tqMQC5g>

Smartscooter GOGORO の方向指示 LED が点滅する光パターンで、LED が瞬時に消灯するのではなく、ゆっくりと薄暗くなるのが見える。

さきほど言及したようにフロントパネルは交換することができ、Gogoro のショールームには、たくさんのパネルがあり、そのいくつかのパネルには数字が書かれたものもある。個人的なスタイルをより高めるために、所有者が好きな数字を指定することもできる。



パネルの交換は、この特別な吸盤を使って行い、ネジを使わず行うことができ、短時間に簡単な工程で交換ができる。



<https://youtu.be/ZudOh27hfp8>

Smartscooter のフロントパネルを外す作業のビデオ、ビデオは吸盤を介して直接パネルを吸引し、迅速な交換で時間が節約できる。

フロントパネルが取り外された後の内部には、配線アセンブリーと、バックアップバッテリーシステムがある。



写真の右側の予備バッテリーシステムは、バッテリーの主電源が消耗した場合に、ここに格納された4つのバッテリーを使用し、スマートスクーター採用しているエンジンロック、いす格納室の開閉などを、キーレスシステムの基本的な機能を実行することができる。



パネルを取り外した裏面、パネル固定のマグネットブロックが非常に強い磁力でパネルが手で外されにくくなっていることがわかるが、Gogoro が市場に出るまえにこのパネル固定方法は修される可能性がある。



<https://youtu.be/FYZt7DtCiNE>

スマートスクーターのフロントパネルの装着ビデオ。パネルが直接配置されると、パネルは強力な磁石で吸い付けられ、パネルの周りの隙間は、指で直接開けることができない。

壁に張られた実際に塗装されたフロントパネルを見ながら、カスタマイズされた Gogoro を想像するのは難しい。



ハンドル部分にはヘッドライトがないので、ハンドルのデザインは非常に単純なアーク形になっており、両端にブレーキレバーとスロットルと後退レバーが見るだけである。



ドライバーの視点から見ると、グリップハンドルとスロットルハンドルのデザインはシンプルであるが、ダッシュボードは未来的テクノロジーで溢れている。LCD 液晶ディスプレイこそ使用していないが、ほとんどの色はスマホで設定でき、いま流行の完全にパーソナライズ化することができる。



標準のサイドミラー、今回は実際に車に乗ることができないので、実際に後ろがどう見えるかは実際に乗って確かめるしかない。



左のハンドルのグリップの近くにあるスロットルを前方に押すと、逆転し車両を後退させることができ、斜面に駐車するときには非常に便利である。ハンドルスイッチは、一番上が、遠くを照らす上向きと、近くを照らす下向きへ切り替えスイッチで、の下は方向灯スイッチで OFF ボタンがないが、同じボタンをクリックするだけで消すことができる。その下はハザードランプと警報ボタンである。



中央の多目的ダッシュボードには、点滅方向インジケーターが左右側にあり、内側には左側から2つのバッテリー残量表示、中央はデジタル速度計、その右側は時計と総走行距離、シングルトリップマイルと残りのマイル数の見積もり、さらに、iQSmartモードでは、所有者のほぼ12日間の走行を記録することができ、スマホ端末のAPPで表示することができる。また高速モードの場合、パワーを完全に表示することができる。



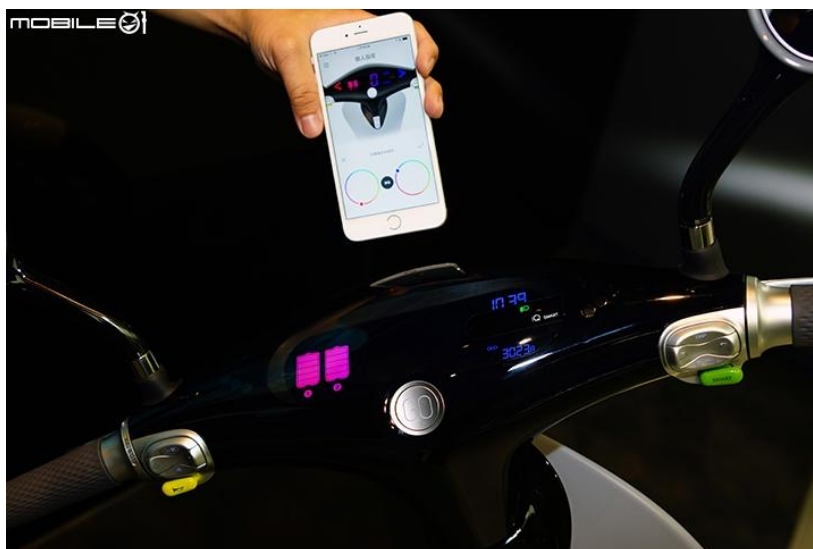
<https://youtu.be/dDhVJyGdpQE>

キーレススイッチが入ると Smartscooter が始動する。スクーターのサイドスタンドを格納し、ダッシュボードの中央にある GO ボタンを押すと、通常のバイクのように乗れるようになるが、エンジンの排気音はなくモーターの小さな音が始まる。

誰かが気付いているかもしれないが、ダッシュボードの色がほとんど同じになっている。Smartscooter のダッシュボードの色はカスタマイズ可能であり、中心から左右に、異なった表示色に調整できる。



実際にスマホのアプリでダッシュボードの表示色を変えているのを見て、小生は誤って未来に足を踏み入れたのではないかと疑うほどであった。



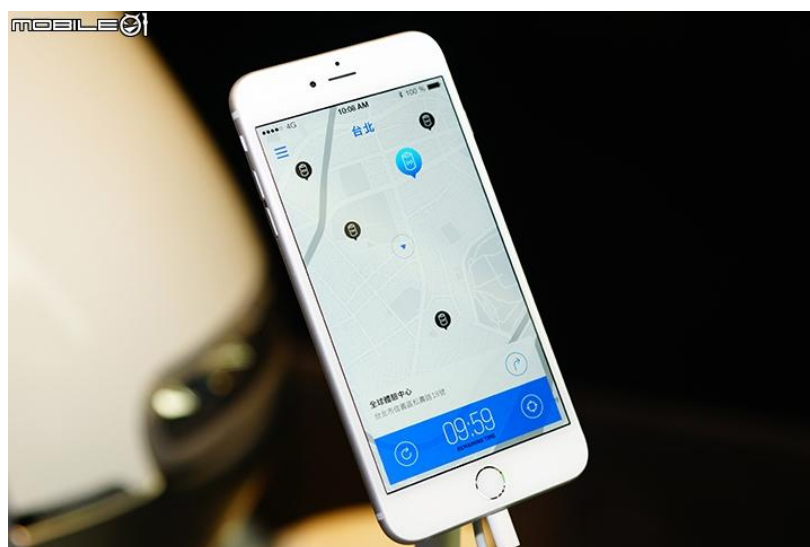
<https://youtu.be/4VPGDM6QGoc>

Smartscooter の走行を終えモーターを止めるには、ダッシュボード中央の GO ボタンを押すだけでよい。つぎにサイドスタンドを下げる。スロットルがロックされモーターを動かすことができなくなる。

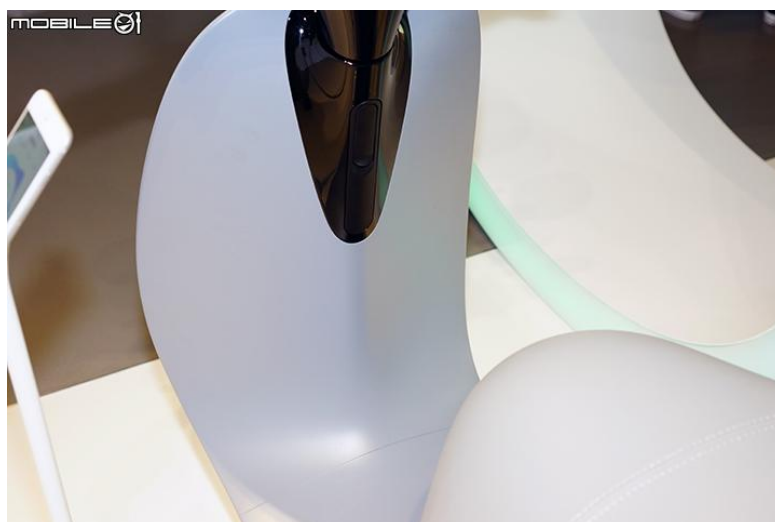
次に右のハンドル部分のスイッチは上から順にトリップボタン、シートクッションの開閉ボタン（左）とスーパーモード（右）、さらにその下がヘッドライトスイッチ、その下の緑はスマートキーになっている。スマートキーは iQSmart 機能のスイッチである。走行の後にトリップボタンを押すと、走行の記録が表示される。



また、スマホアプリで、バッテリー残量と走行可能距離予測を見て、バッテリー残量が低下している場合、スマホアプリを介して近くの GoStation をチェックすることができる。GoStation にフル充電のバッテリーがある場合は、10分以内にバッテリーを交換するよう予約する



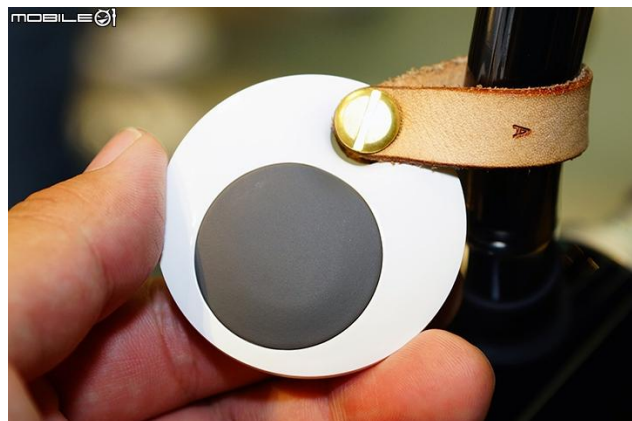
こともできる。予約済みのバッテリーは10分の間ユーザーに予約される。これは非常に親切な機能で、シェア自転車のUbikeも、近くのUbikeステーションと空き状況を確認できるが、10分以内に到着したが、すでに借りられていたという苦い思いをすることがある。



フロント部分の仕上げは明るい色で、仕上げの汚れがどの程度目立つかわからないので、これにはまだテストする時間が必要である。



Smartscooterのキーレスシステムは、このgogoro i-Key を持って、裏側のボタンを短く押すとロックが解除され、長押しすることで、トランクやその他の機能を実行することができる。



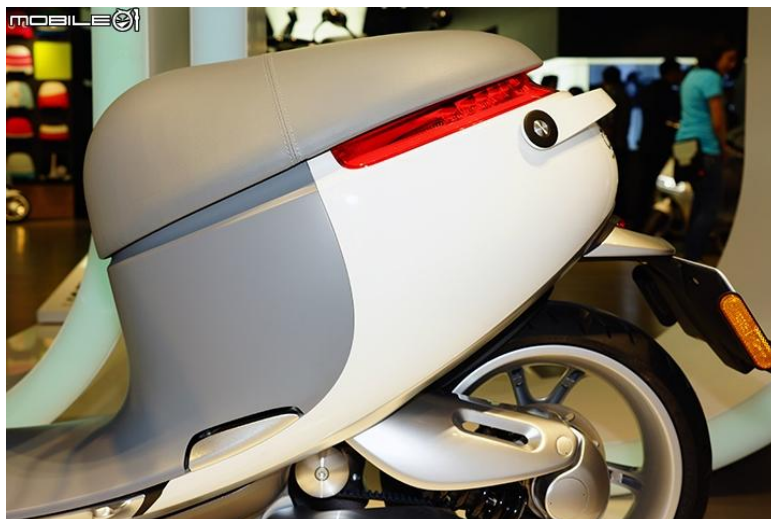
中央のフックは、非常に便利であり、油圧式の折り畳み機構であるので、開閉する時にがたがたした音がせず、フックの折りたたみ機構が壊れにくくなっている。



<https://youtu.be/bpuFvYltM68>

スマートスクーターGOGORO 油圧フックのデモ映像、押した指が離れた後、非常に繊細にフックが折りたためられる速度を観察することができる。

次に、後部のボディ側面は、一貫した丸みを帯びたデザインで、クッションとボディも一体感のあるものになっている。



適度なクッションサイズ、二人乗りができるサイズである。



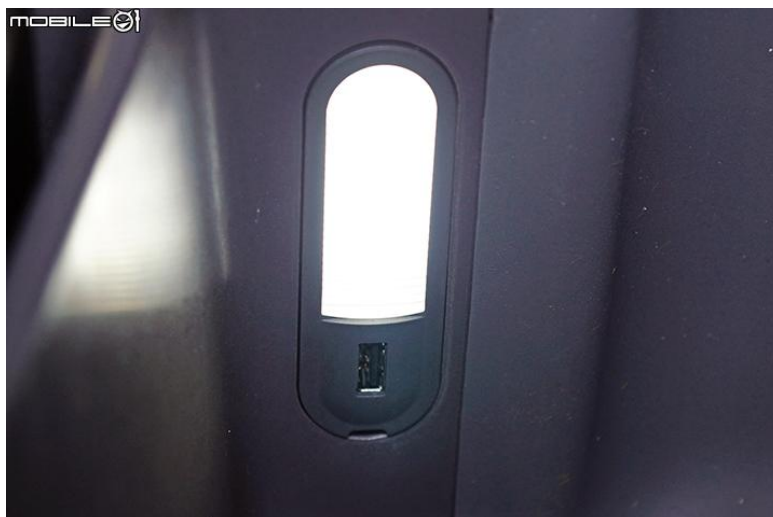
座席の下のトランクを開くと、2つの交換可能なバッテリーと、簡単な格納スペースがある。デザインチームは、ここには 3/4 ヘルメットをしまうことができると述べたが、展覧会では実際に確かめることはできなかった。しかしスマートスクーターのモニターテストの機会があるので、そこでさまざまな物をしまいテストすることができる。バッテリーはスイッチ付きで設計されているので、車のバッテリーのように端子を取り外す必要はない。ダイレクトな差込みは、非常に便利で、交換することができる。



<https://youtu.be/u8hgHVVdAU4>

Smartscooter GOGORO のバッテリー交換手順は、このビデオのナレーションで参照することができる。
GoStation で Smartscooter のバッテリーをどのように交換するか理解できる。

加えて、LED ライトと USB 充電ポート
がトランク内にあり、スマートフォンや
その他の充電式携帯機器の充電ができ
るようになっている。



Gogoro Smartscooter のリチウムバッ
テリーパックは、パナソニック 18650
リチウムイオンバッテリーセルが内蔵
されている。公式的には、このバッテリ
ーセルは Tesla と Gogoro にしか提供さ
れていない。品質は信頼されるべきもの
がある。



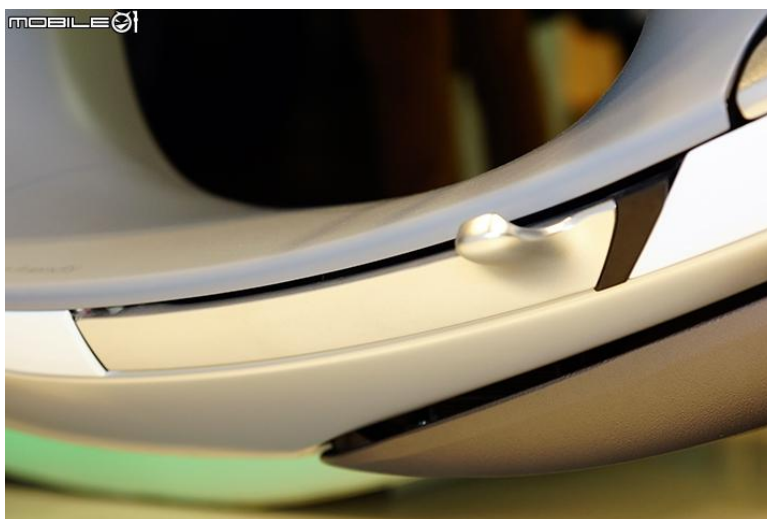
後尾部分は、フロントのラインと合致しており、尾灯と方向指示灯は統合化されている。またこの一体となったランプの歓迎点滅モードは、スマホのアプリで設定することができる。



後尾部分のサイズはあまりにも大きくないが、その丸みは非常にかわいい。このスクーターが似合う絵画があるとすれば、多くの女性が一緒に描かれたものに違いないと私は信じている。



アルミ合金製のサイドスタンド部分、折りたたみボディーの内側に完全に納まるようになっている。サイドスタンドは安全スイッチ付きで、サイドスタンドが格納されずに走行できないようにし、左コーナリングの危険を避けている。



サイドスタンドを蹴るのを助けるための小さなブラケットが、ボディーから顔を出しているだけである。



後部シートのカッドレストも、ボディーの中に折り畳まれており、プッシュ式ポップアップペダルとなっている。



次に Smartscooter のサスペンション、ブレーキ、動力部分を見ることにする。Smartscooter の前輪には、MAXXIS 製の 100/60-R12 低扁平なコンポジットタイヤが採用されている。



前輪には、対向ダブルピストンのキャリパーの 205mm のディスクブレークが付いている。



前輪の対向ダブルピストンのキャリパー、各ピストンサイズは 38mm、Gogoro という文字が上に印刷されている。



前輪サスペンションシステムは、最も特殊なものになっている。アルミニウム製単軸倒立フォークと名づけられた、シングルアームサスペンションである。航空機の着陸前輪装置の設計と似て、効果的に壊れた表面の道路の振動を吸収することができる。実際の効果は今後のモニターテストで実証されるはずである。



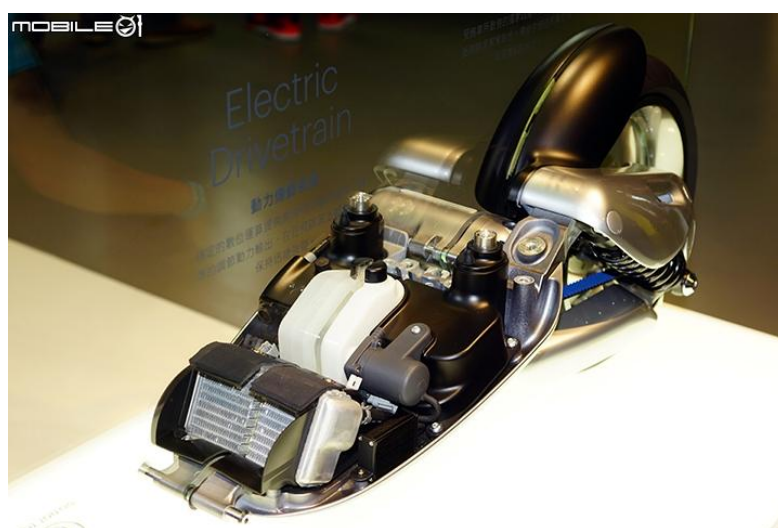
Smartscooter のシャーシ部分は Areoframe のアルミ合金フレームを使用し、十分な強度に加えて、最も重要なのはモジュラー設計で、多くの組み立て時間とメンテナンス時間を削減することができる。



上部のプラスチック製シェルは、直接シャーシに載せることができる。位置合わせと留め付けパーツを介して、便利で迅速なメンテナンスが可能となっている。



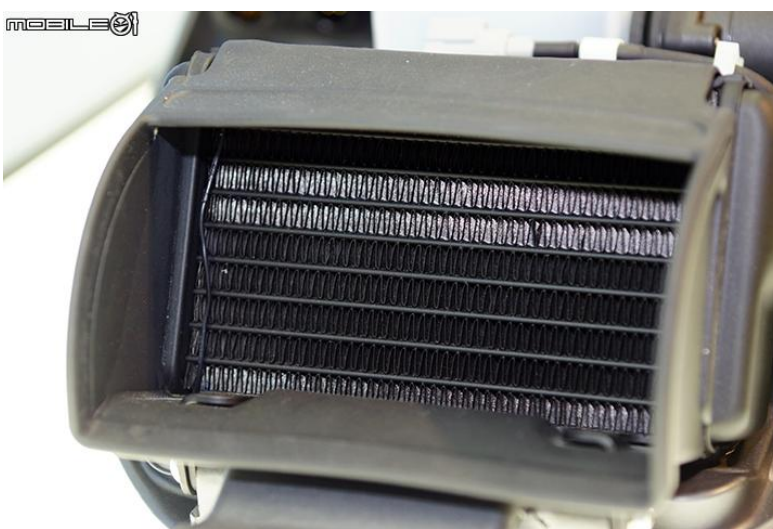
このモジュールユニットは Gogoro Smartscooter の動力部分であり、ワンピースシャーシ設計で、容易なメンテナンスと迅速な分解を可能にしている。Smartscooter は高出力 6400W G1 アルミ合金水冷式永久磁石同期モーターを使用している。水温でモーターを廃熱する水冷式のために、白い補助冷却水タンクが見える。シャーシ全体が IPX7 防水グレードであることに注目することも重要である。台湾では午後に、しばしば雷雨による水害が発生しているという状況を考えたものである。



補助冷却水タンクとバッテリー端子。バッテリー端子は、パワーモジュールユニットの上の2つの円形の同軸端子で、トランクの底を通して、トランクのバッテリー差込み口に直接露出している。



パワーモジュールの前端には冷却水の導管に接続されたフィンパイプ式熱交換器が装備されている。吸気口は前輪のすぐ後ろにある。



モータ部分に接続されたモータコントローラ、下側は三方向電源入力、上側はセンサーの送信端子で、おそらくホール効果センサーからのものである。



後輪はパワーモジュールの出力であり、星型歯車を介して、カーボンファイバーベルトで後輪に直接伝達され、伝達効率を向上させている。後輪は 110/60-R12、前輪と同じ仕様で専用コンポジットタイヤ。

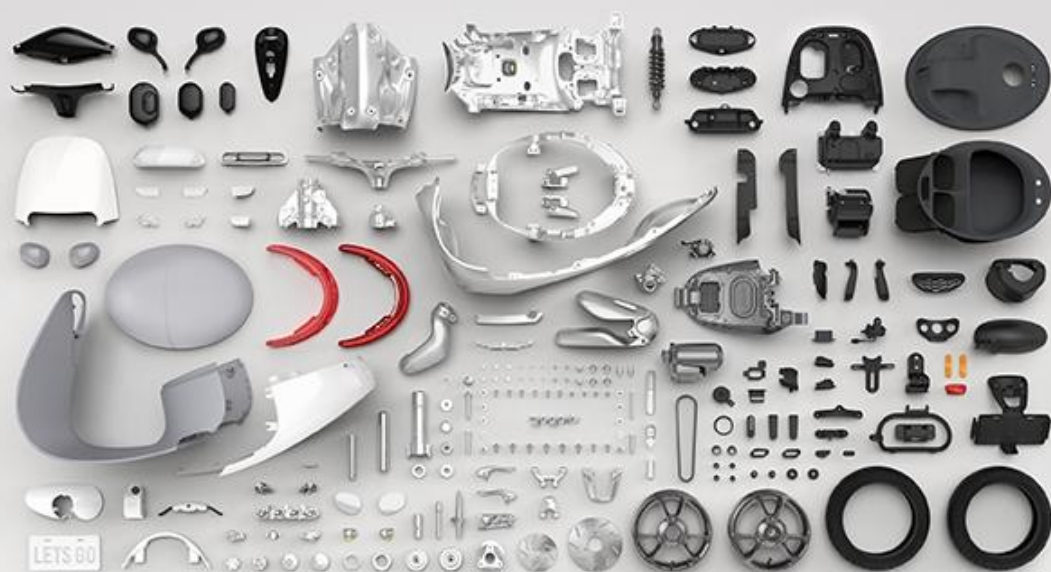


Gogoro Smartscooter は Pit-Up と呼ぶ、リフトアップ・メンテナンスシステムを採用している。ガソリンエンジン、電動モーターにかかわらずパワーモジュールは複雑で、リフトアップ式にすることで、メンテナンスを行うのに一目で見ることができる。車のインジケーターを介してだけでなく、車両の状態を完全に理解するために、GoStation でのバッテリー交換の通知や、安全運転を習得するためのメッセージなど、メンテナンスの必要性がスマホのアプリケーションでも通知される。



結論

電動バイクのこれまでのモデルは、そのデザインは、現行のガソリンエンジンバイクの外観と、それほど離れたものでなく、乗り心地もそれほど良いものではない。しかし、時代が進展する中、科学技術も進歩している。Gogoro は、電動バイクの製造を始めただけでなく、地方自治体の環境対策計画と協力して、より完全な購入支援策を作り上げた。そして将来は、Smartscooter の価格と 125cc クラスのガソリンエンジンバイクに近くなり、この種の電動バイクはより多くの人々の選択対象になるはずである。GoStation とスマホアプリのインタラクティブアシスタンスにより、現在の平均的な電動バイクよりも走行距離が長く、驚異的な最高速度と加速性を備えた Smartscooter により、より良いバイク乗り経験を得ることができるように。また、将来的には、モニターテスト報告が行われ、より多くの人々が電動バイクの詳細を知る機会を得られるよう期待している。



Gogoro Smartscooter 規格表 :

動力システム

スロットルコントロール : Saferide™ トランスミッション電子スロットル

リバースコントロール : 電子リバーススロットル

パワーモード : 通常モード / レーシングモード

バッテリーポート : 全方向バッテリーポート

モータ : G1 アルミ合金水冷永久磁石同期モータ

モータコントローラ : MOSFET 水冷モータコントローラ

冷却システム : ストレートフローダクト水冷却システム

ドライブベルト : ゲート高張力炭素繊維コンポジットベルト

ギアボックス : 一体型星型ギアセット

最大出力 : 6400W @ 3,250rpm

最大馬力 : 8.58 馬力 @ 3,250 rpm

最大トルク : 25 Nm @ 0-2,250 rpm

性能諸元

加速 (0-50 km / h) : 4.2 sec

速度 : 95 km / h

左傾斜限界 : 45°

右傾斜限界 : 48.5°

勾配 : 30% (17°) : 30 km / h 20% (11°) : 40 km / h 10% (6°) : 60 km / h

一充電走行距離 (定速 40km / h) : 約 100km

各部寸法容量

L×W×H : 1730mm×690mm×1215mm

ホイールベース : 1,230 mm

重量 (バッテリー2 個付) : 112 kg

重量 : 94 kg

収納ボックス容量 : 24.5 L

上記の公式仕様からの情報は、実際の購入の際にも公式に最新のものを取り寄せること。